

凸版印刷、「GL BARRIER」に ALL PE 液体向けパッケージをラインアップ
強度と環境適性の両立を実現した ALL PE モノマテリアル構成のパッケージを開発。
単一素材構成でボイル殺菌にも対応、リサイクル適性にも優れた環境配慮型パッケージ

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、透明バリアフィルムを軸とした総合バリア製品ブランド「GL BARRIER(※)」シリーズの新しいラインアップとして、液体内容物向けの PE(ポリエチレン)モノマテリアルバリアパッケージを開発しました。

本製品は「GL BARRIER」の蒸着、コーティング技術を活かし、PE(ポリエチレン)では困難だった蒸着加工が可能となり、従来の PE モノマテリアルパッケージに比べて高いバリア性を実現しました。

一般的な PE モノマテリアル構成では各種物性の面で課題のあった高水分・液体の内容物にも対応し、液体製品用途としての落下強度にも優れており、ボイル殺菌が可能で、より幅広い用途での使用が可能です。また、モノマテリアル構成のためリサイクル適性が高く、強度と環境適性の両立を実現したパッケージです。

本製品により、欧米で先行するモノマテリアルの需要に対応した「GL BARRIER」のラインアップを更に拡充しました。

食品メーカーやトイレタリーメーカーを始めとした幅広い業界に向け、全世界で 2023 年春頃よりサンプル出荷を開始し、2023 年中の本格的な販売開始を目指します。

なお、本製品は 2022 年 10 月 12 日(水)から 14 日(金)に開催される「2022 東京国際包装展 - TOKYO PACK 2022-」(会場:東京ビッグサイト)の凸版印刷ブース(東 2 ホール・小間番号 2-52)に展示します。



ALL PE 液体向けパッケージ製品のイメージ

© TOPPAN INC.

■ 開発の背景

SDGs(持続可能な開発目標)など、環境配慮や省資源化推進における世界的な機運の高まりを受け、環境負荷を低減するパッケージに注目が集まっています。凸版印刷は、2021 年 5 月に公表した中期経営計画において、「DX(Digital Transformation)」と「SX(Sustainable Transformation)」によってワールドワイドで社会課題を解決するリーディングカンパニーとして、持続可能な社会の実現と企業価値の向上をはかるとし、重点施策の一つとして「環境」への取り組みを掲げ、事業活動を推進しています。

凸版印刷は 1986 年にフードロス削減や省資源化などの社会課題を解決するバリアフィルム「GL FILM」

を開発。現在は世界最高水準のバリア性能と用途に応じた豊富なラインアップにより、環境配慮や省資源化の特長が評価され、透明蒸着バリアフィルムの市場において、世界トップシェアを誇っています。EUにおいては、2030年までにすべての包材を再利用・リサイクル可能にするという目標がかかげられるなど、各国が包装廃棄物の資源循環に取り組み始めています。

包材のモノマテリアル化はリサイクル適性を向上させる有効な手段であり、PEを基材としたモノマテリアルパッケージ向けバリアフィルム、バリアパッケージの開発が求められています。優れた落下強度を有するPEモノマテリアルバリアパッケージの開発により、洗剤やシャンプーなどの詰め替えパウチについてもモノマテリアル構成への置き換えが可能となります。

■ 「液体用途向け PE モノマテリアルバリアパッケージ」の特長

・PEモノマテリアル構成による優れたリサイクル適性

パッケージの構成材料をPEによる単一素材化することにより、優れたリサイクル適性を実現しました。

・ハイバリア性／ボイル殺菌適性

「GL BARRIER」の開発・製造により培われた技術をもとに開発された、高品位なバリア蒸着層、独自開発のバリアコート剤とコンバーティング技術により高いバリア性とボイル殺菌適性を実現し、従来難しかったハイバリア要求の内容物等にも幅広く対応します。

・液体用途向け の PE モノマテリアル包材を実現

優れた落下強度を有するPEモノマテリアルバリアパッケージの開発により、洗剤やシャンプーなどの詰め替えパウチにおいてもモノマテリアル構成への置き換えが可能となります。

「モノマテリアルバリアパッケージ」紹介

<URL>

https://www.toppan.co.jp/living-industry/packaging/products/mono-material_flexible_packaging/

コラムページ：<https://www.toppan.co.jp/living-industry/packaging/topics/column/005/>

■ 「TOPPAN S-VALUE® Packaging」について



凸版印刷は、「価値あるパッケージ」で、よりよい社会と心豊かで快適な生活に貢献する「TOPPAN S-VALUE® Packaging」を掲げ、「ひと」に価値ある「スマートライフ バリュー パッケージ®」、「しゃかい」に価値ある「ソーシャル バリュー パッケージ®」、「ちきゅう」に価値ある「サステナブル バリュー パッケージ®」を提供します。



「ひと」/「スマートライフ バリュー パッケージ®」

円滑な購入や効率的な保管、美味しく仕上がる調理、簡便な廃棄、安全・安心な取り扱いなど、生活のさまざまな場面に最適な価値を提供し、コミュニケーション媒体として顧客体験を最大化させるソリューションを展開します。



「しゃかい」/「ソーシャル バリュー パッケージ®」

サプライチェーンにおいて発生する業務効率化、生産性向上、販売の最適化などのさまざまな課題を解決し、継続的な企業活動を実現する価値あるパッケージやサービスを展開します。



「ちきゅう」/「サステナブル バリュー パッケージ®」

再生プラスチックを用いた包装材、単一素材でリサイクル適性を向上した包装材、植物由来材料の紙やバイオマスプラスチックを用いた包装材など、環境負荷の低減と循環型社会の実現につながるソリューションを展開します。

<URL>

<https://www.toppan.co.jp/living-industry/packaging/sustainability/>

■ 今後の目標

凸版印刷は本製品を含むモノマテリアルパッケージを国内外で拡販し、2025 年に関連受注を含め約 200 億円の売上を目指します。持続可能な社会の実現に向け、ワールドワイドで持続可能な社会を実現する取り組みを進めます。

■ 「TOKYO PACK 2022」について

名称:2022 東京国際包装展 –TOKYO PACK 2022–

会期:2022 年 10 月 12 日(水)～14 日(金)

開場時間:10:00～17:00

会場:東京ビッグサイト 東 1～3・東 6 ホール

テーマ:新時代パッケージ ここに集う！-未来のために機能進化と使命-

主催:公益社団法人日本包装技術協会

公式サイト URL: <https://www.tokyo-pack.jp/>

「TOKYO PACK 2022 特設 Web サイト」

URL: <https://www.toppan.co.jp/living-industry/packaging/tokyopack2022/>

■ アクセス情報

・東京ビッグサイトまでのアクセス

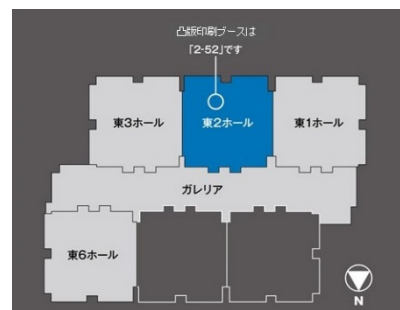
りんかい線 国際展示場駅(下車 徒歩 7 分)

ゆりかもめ 東京ビッグサイト駅下車(下車 徒歩 3 分)

・凸版印刷ブースへのアクセス

凸版印刷ブース位置

東 2 ホール 小間番号 2-52



※ GL BARRIER

「GL BARRIER」は凸版印刷が開発した世界最高水準のバリア性能を持つ透明バリアフィルム「GL FILM」を軸とした総合バリア製品ブランドです。「GL FILM」は独自のコーティング層と高品質な蒸着層を組み合わせた多層構造で、安定したバリア性能を発揮します。また多くの優れた特性が高い評価を受け、食品から医療・医薬、産業資材に至る幅広い分野で採用されています。

URL: https://www.toppan.co.jp/living-industry/packaging/products/barrier_film/

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上